

令和 6 年 7 月 5 日

東京二十三区清掃一部事務組合

中央清掃工場の操業状況及び環境調査結果 (令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月)

1 操業状況

(1) 搬入、搬出状況	P 1
(2) 炉稼働状況	P 2
(3) 発電状況	P 2

2 環境調査結果

(1) 排ガス調査結果	P 3
(2) 排水調査結果	P 4
(3) 騒音調査結果	P 6
(4) 振動調査結果	P 7
(5) 臭気調査結果	P 9
(6) ごみ性状調査結果	P 10
(7) ダイオキシン類調査結果	P 11
(8) 周辺大気中のダイオキシン類調査結果	P 12

1 操業状況

1－(1) 搬入、搬出状況

速報値

項 目		単位	令和5年												令和6年			合 計	月平均値 ※4
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
ごみ	区収集ごみ	t	5,984	4,093	3,709	5,289	5,430	5,422	7,137	5,533	5,578	6,285	5,719	5,928	66,108	5,509			
	内 (中央区)	t	2,575	2,698	2,617	2,623	2,599	2,473	2,561	2,555	2,823	2,711	2,466	2,649	31,350	2,612			
	内 (他区) ※1	t	3,409	1,395	1,093	2,665	2,831	2,949	4,575	2,978	2,755	3,574	3,254	3,280	34,758	2,896			
	持込ごみ	t	5,122	12	26	6,481	9,842	11,433	8,946	338	1,437	2,665	4,944	5,344	56,588	4,716			
	搬入量合計	t	11,105	4,106	3,735	11,769	15,272	16,855	16,082	5,871	7,015	8,950	10,663	11,272	122,696	10,225			
	平均搬入量 ※2	t/日	444	152	144	453	566	648	619	226	270	358	427	434	—	395			
搬入	搬入台数	台	8,142	3,332	3,008	8,151	11,103	12,271	11,876	4,853	5,421	6,397	8,019	8,020	90,593	7,549			
	平均搬入台数 ※2	台/日	326	123	116	314	411	472	457	187	209	256	321	308	—	291			
	搬入日数	日	25	27	26	26	27	26	26	26	26	25	25	26	311	26			
	搬出量	t	1,338	620	502	1,103	1,709	1,842	1,376	1,078	874	949	1,107	1,381	13,878	1,156			
灰搬出	平均搬出量 ※3	t/日	54	36	30	42	71	77	66	60	49	43	48	63	—	54			
	搬出台数	台	177	87	66	139	229	266	183	142	119	123	138	202	1,871	156			
	平均搬出台数 ※3	台/日	7	5	4	5	10	11	9	8	7	6	6	9	—	7			
	灰搬出日数	日	25	17	17	26	24	24	21	18	18	22	23	22	257	21			

※1 他区とは、千代田区、新宿区、文京区、台東区の4区です。

※2 各月の平均搬入量、平均搬入台数は、搬入量合計、搬入台数を搬入日数で除した数です。

※3 各月の平均搬出量、平均搬出台数は、搬出量、搬出台数を搬出日数で除した数です。

※4 月平均値は、年度の合計を12で除した数です。

(注) 端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合があります。また、当組合発表の年報値と異なる場合があります。

1-(2) 炉稼働状況

速報値

[illegible]

※1 各月の平均焼却量は、ごみ焼却量を焼却日数で除した数です。

※2 ごみ焼却量及び焼却日数の月平均値は、合計を12で除した数です。

(注) 端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合があります。また、当組合発表の年報値と異なる場合があります。

1- (3) 発電状況

速報値

項 目	単位	令和5年												令和6年			合 計	月平均値 ※3
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
ごみ発電量	kWh	6,301,740	1,730,420	2,302,970	6,027,090	9,142,170	8,561,580	7,935,590	5,033,440	3,563,020	4,457,290	5,293,420	6,855,290	67,204,020	5,600,335			
	所 内 消 費	kWh	2,182,400	743,900	1,031,310	2,358,770	3,276,190	3,053,980	2,394,470	1,778,440	1,504,200	1,895,590	1,588,780	2,053,650	23,861,680	1,988,473		
	うち清洲間運施設 ※1	kWh	17,252	9,323	12,934	32,831	79,160	99,410	62,144	51,026	53,562	80,947	58,869	67,427	624,884	52,074		
	送電電力量	kWh	4,119,340	986,520	1,271,660	3,668,320	5,865,980	5,507,600	5,541,120	3,255,000	2,058,820	2,561,700	3,704,640	4,801,640	43,342,340	3,611,862		
内 訳	売 電 量	kWh	4,119,340	986,520	1,271,660	3,668,320	4,783,830	4,578,050	4,594,370	3,255,000	2,058,820	2,561,700	3,160,890	4,801,640	39,840,140	3,320,012		
	自己耗送電電力量※2	kWh	0	0	0	0	1,082,150	929,550	946,750	0	0	0	543,750	0	3,502,200	291,850		

※1 清掃関連施設の利用量は、所内消費に含まれます。また、算定日数が異なります。

※2 自己託送電力量とは、自己託送制度(送配電網を介して、余剰電力の一一部を清掃一一組内の別の施設へ送る制度)を

利用して送電した電力量のことです。

※3 月平均値は、年度の合計を12で除した数です。

(注) 端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合があります。また、当組合発表の年報値と異なる場合があります。

2 環境調査結果

2-1 排ガス調査結果

調査機関：株式会社環境技術研究所

項目	基準値		炉	調査年月日								単位
	法律	自己 規制値		令和5年4月11日	令和5年6月21日	令和5年8月1日	令和5年10月5日	令和5年11月22日	令和6年2月14日	令和6年3月19日		
ばいじん	0.04	0.01	1号	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	g/m ³ N
			2号	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
硫黄 酸化物	60	10	1号	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	ppm
			2号	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	
窒素 酸化物	250	50	1号	38	36	36	35	38	39	38	ppm	
			2号	36	30	34	38	38	38	38		38
塩化 水素	430	10	1号	<2	<2	<2	<2	<2	<2	<2	<2	ppm
			2号	<2	<2	<2	<2	<2	<2	<2	<2	
水銀	50	—	1号	0.18	0.04	0.04	0.33	0.09	0.29	0.17	μg/m ³ N	
			2号	0.14	0.07	0.16	1.1	0.27	0.29	0.17		0.17

(注)

- 1 各項目の値は、酸素濃度12%換算値です。
- 2 m³N(ノルマル立方メートル)は0℃、1気圧の標準状態における気体の体積を表します。
- 3 ppmは、100万分の1の割合を表します。
- 4 μg(マイクログラム)は、100万分の1グラムの質量を表します。

2-(2) 排水調査結果

調査機関：ユーロフィン日本環境株式会社

No.	項 目	基準値	調査年月日						単位
			令和5年4月6日	令和5年6月20日	令和5年8月3日	令和5年10月3日	令和5年12月5日	令和6年2月1日	
1	温度	45未満	28.7	31.1	36.8	35.0	26.1	23.5	℃
2	色相	—	淡黄色	淡黄色	淡黄色	淡黄色	無色	黄色	—
3	濁り	—	なし	なし	なし	なし	なし	なし	—
4	水素イオン濃度 (pH)	5を超え 9未満	7.3	7.4	7.2	7.3	7.3	7.2	—
5	生物化学的酸素要求量 (BOD)	600未満	4	2	30	1	8	40	mg/L
6	化学的酸素要求量 (COD)	—	49	23	50	33	14	51	mg/L
7	浮遊物質 (SS)	600未満	<1	<1	<1	<1	<1	<1	mg/L
8	ノルマルヘキサン抽出 物質含有量	30以下	<1	<1	<1	<1	<1	<1	mg/L
9	フェノール類	5以下	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	mg/L
10	銅及びその化合物	3以下	0.01	<0.01	0.26	0.08	<0.01	0.09	mg/L
11	亜鉛及びその化合物	2以下	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01	mg/L
12	鉄及びその化合物 (溶解性)	10以下	0.2	0.3	0.5	0.4	0.3	0.2	mg/L
13	マンガン及びその化合物 (溶解性)	10以下	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	mg/L
14	クロム及びその化合物	2以下	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	mg/L
15	窒素含有量	120未満	12	7.0	14	10	6.1	10	mg/L
16	燐含有量	16未満	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	mg/L
17	沃素消費量	220未満	<1	<1	<1	<1	<1	<1	mg/L
18	カドミウム及びその化合物	0.03以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	mg/L
19	シアン化合物	1以下	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	mg/L
20	有機燐化合物	1以下	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	mg/L
21	鉛及びその化合物	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
22	六価クロム化合物	0.5以下	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	mg/L

2-(2) 排水調査結果

調査機関：ユーロフィン日本環境株式会社

No.	項 目	基準値	調査年月日						単位
			令和5年4月6日	令和5年6月20日	令和5年8月3日	令和5年10月3日	令和5年12月5日	令和6年2月1日	
23	砒素及びその化合物	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
24	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	0.005以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	mg/L
25	アルキル水銀化合物	検出され ないこと	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	mg/L
26	ポリ塩化ビフェニル (PCB)	0.003以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	mg/L
27	トリクロロエチレン	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
28	テトラクロロエチレン	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
29	ジクロロメタン	0.2以下	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	mg/L
30	四塩化炭素	0.02以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	mg/L
31	1,2-ジクロロエタン	0.04以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	mg/L
32	1,1-ジクロロエチレン	1以下	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	mg/L
33	シス-1,2-ジクロロエチ レン	0.4以下	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	mg/L
34	1,1,1-トリクロロエタン	3以下	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	mg/L
35	1,1,2-トリクロロエタン	0.06以下	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	mg/L
36	1,3-ジクロロプロペン	0.02以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	mg/L
37	ベンゼン	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
38	1,4-ジオキサン	0.5以下	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	mg/L
39	シマジン	0.03以下	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	mg/L
40	チオベンカルブ	0.2以下	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	mg/L
41	チウラム	0.06以下	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	mg/L
42	セレン及びその化合物	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
43	ふっ素及びその化合物	15以下	0.27	0.16	0.20	0.24	0.20	0.21	mg/L
44	ほう素及びその化合物	230以下	0.78	0.34	0.79	0.62	0.41	0.33	mg/L

2-(3) 騒音調査結果

調査年月日： 稼働時 令和5年10月2日(月)～ 3日(火)
 停止時 令和5年5月24日(水)～ 25日(木)

調査機関： 株式会社CTIウイング

単位: デシベル

時間区分	昼間			夕			夜間			朝		
調査時間	(13時～15時)			(20時～22時)			(0時～2時)			(6時～8時)		
調査地点	基準値	稼働時	停止時	基準値	稼働時	停止時	基準値	稼働時	停止時	基準値	稼働時	停止時
①	60	57	57	55	50	50	50	51	50	55	54	52
②		55	60		45	45		45	43		51	49
③		55	53		45	43		44	41		48	45
④		54	53		46	45		46	44		50	46
⑤		55	-		52	-		51	-		53	-
⑥		54	51		48	46		47	45		50	48
⑦		59	53		50	46		50	45		52	49
⑧		51	55		46	46		45	44		51	51
⑨		55	58		49	47		48	46		52	56
⑩		56	56		50	49		50	48		53	51

(注) 地域の区分は、第3種区域(商業地域)です。(調査地点は、P8を参照してください。)

(注) 停止時の⑤は工場北側区道盛土工事(東京都港湾局)のため測定しませんでした。

【調査機関の見解】

中央清掃工場における騒音測定結果と基準値を比較すると、①、⑤の夜間の時間帯で基準値を超過していた。①、⑤では、マンションの室外機音や自動車のアイドリング音等の定常騒音の影響があったと推測される。

区域の区分の例	
第1種区域	第1・2種低層住居専用地域
第2種区域	第1・2種中高層住居専用地域 第1・2種住居地域 準住居地域
第3種区域	近隣商業地域 商業地域 準工業地域
第4種区域	工業地域

出典:「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」

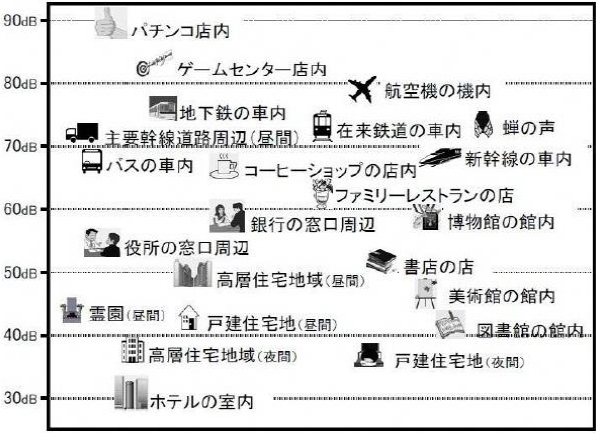


図1 騒音の目安(都心・近郊用)
 (出典「全国環境協議会 騒音小委員会」)

2-(4) 振動調査結果

調査年月日：稼働時 令和5年10月2日(月)～3日(火)

停止時 令和5年5月24日(水)～25日(木)

調査機関：株式会社CTIウイング

単位：デシベル

時間区分	昼間			夜間		
調査時間	(13時～15時)			(0時～2時)		
調査地点	基準値	稼働時	停止時	基準値	稼働時	停止時
①	65	42	44	60	33	26
②		45	42		25	25
③		38	39		28	25
④		48	47		40	38
⑤		39	40		31	34
⑥		35	41		27	27

(注)地域の区分は、第2種区域(商業地域)です。

(調査地点は、P8を参照してください。)

区域の区分の例	
第1種区域	第1・2種低層住居専用地域
第2種区域	近隣商業地域 商業地域 準工業地域 工業地域

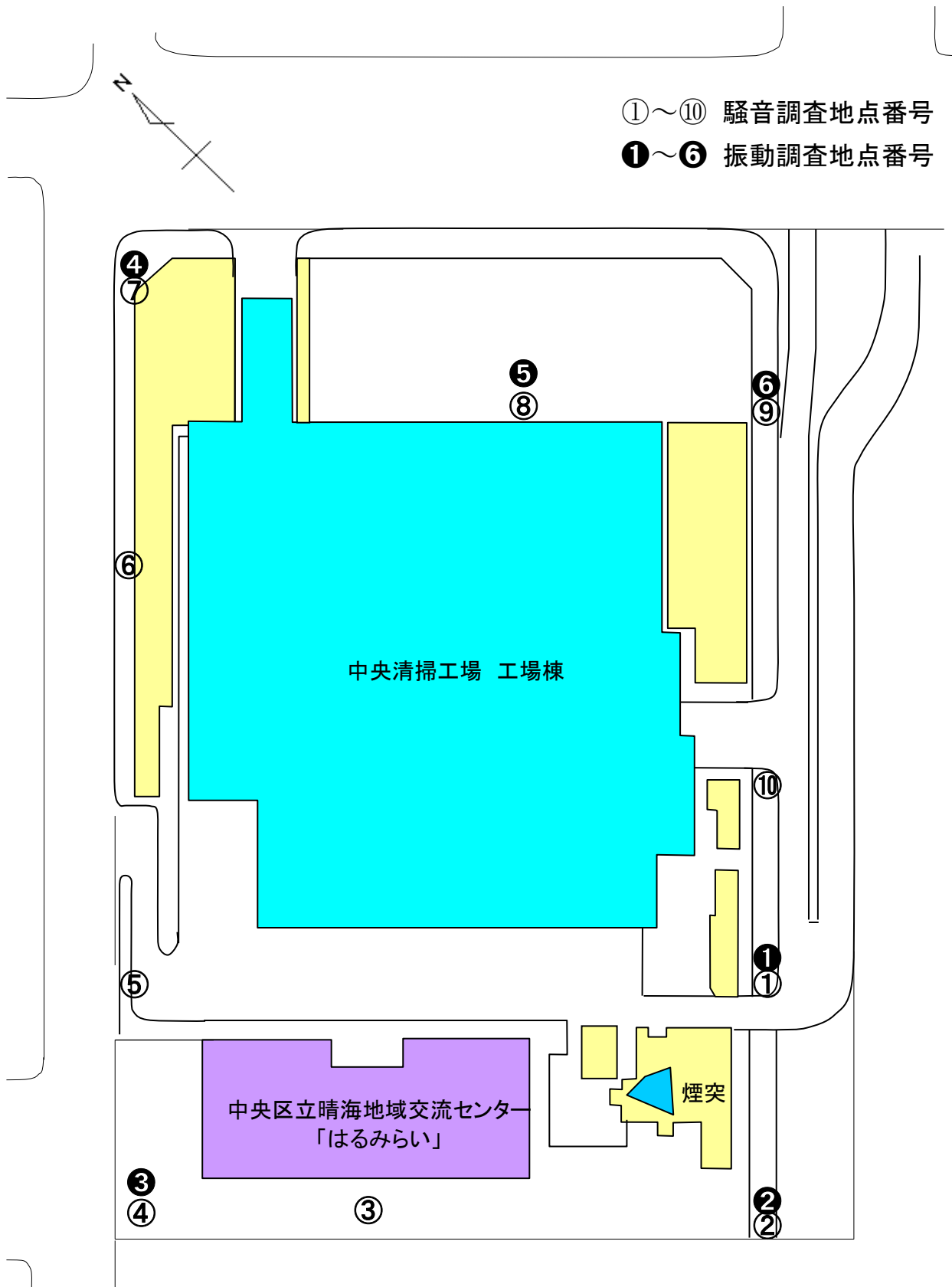
出典：「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」

【振動のめやす】

デシベル	50	60	70	80	90
状態	人体に感じない程度	静止している人だけ感じる	大勢の人に感じる程度で、戸、障子がわずかに動く	家屋が揺れ、戸、障子がガタガタと音をたてる	家屋が激しく揺れ、すわりの悪いものが倒れる

出典：「東京の環境2011」(東京都環境局)

騒音・振動調査地点



2-(5) 臭気調査結果

調査年月日：令和5年8月21日

調査機関：株式会社むさしの計測

項目	基準値	調査地点			定量下限値
		①	②	③	
臭気指数	12	10未満	10未満	10未満	10

(調査地点は、下図を参照してください。)

(注)

臭気指数は、試料を臭気を感じられなくなるまで無臭空気で希釈したときの倍率(希釈倍率)をもとに、人の嗅覚の特性に合うように計算して求めた値です。

臭気の測定方法は、「大気試料は10倍希釈から測定を開始」と定められています。

この10倍希釈において臭気を感じられない場合、臭気指数は10未満となります。

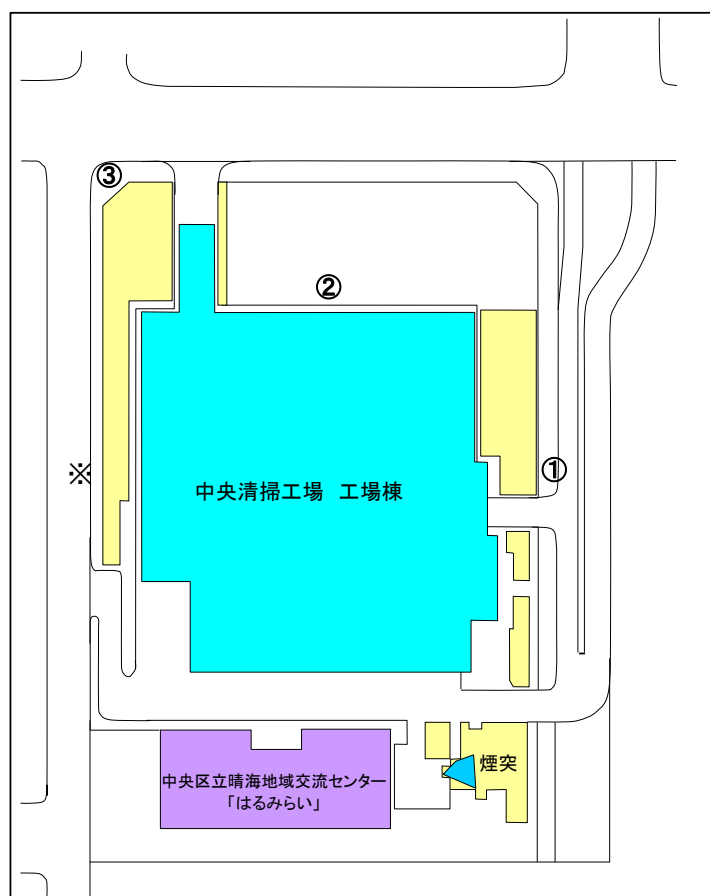
令和5年度においては、工場北側区道盛土工事(東京都港湾局)のため、③の測定位置を例年の測定位置※よりずらして測定しております。

(参考)

臭気指数 = $10 \times \log(\text{希釈倍率})$

例：試料を100倍に希釈したときの臭気指数 $10 \times \log 100 = 10 \times 2 = 20$

【臭気調査地点】



2-(6) ごみ性状調査結果

調査機関：ユーロフィン日本環境株式会社

(ごみの物理組成(湿ベース重量%))

分類項目	調査年月日	第1回	第2回	第3回	第4回	平均値
		令和5年4月24日	令和5年9月15日	令和5年11月29日	令和6年2月21日	
可燃物		98.73	99.36	98.19	99.04	98.83
	紙類	43.85	43.40	41.14	43.69	43.02
	繊維	5.87	6.01	7.75	3.38	5.75
	厨芥	17.78	17.80	19.25	24.81	19.91
	木草	2.42	4.48	3.01	2.39	3.08
	プラスチック類	26.24	24.45	22.11	21.80	23.65
	ゴム・皮革	0.67	1.14	1.85	0.66	1.08
	その他可燃物	1.89	2.07	3.08	2.30	2.34
不燃物		1.27	0.64	1.81	0.96	1.17
	金属	0.39	0.21	0.65	0.30	0.39
	ガラス	0.32	0.19	0.36	0.28	0.29
	石・陶器	0.01	0.07	0.19	0.03	0.08
	その他不燃物	0.56	0.17	0.62	0.36	0.43
合 計		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

(注)

端数処理のため、各回及び平均値の内訳及び合計が合わない場合があります。

2-(7) ダイオキシン類調査結果

調査機関: ユーロフィン日本環境株式会社

項目		基準値	調査値	調査年月日	単位
排ガス	1号炉	0.1	0.00000016	令和5年6月21日	ng-TEQ/m ³ N
			0.00000036	令和5年10月5日	
	2号炉		0.00000033	令和5年5月11日	
			0.00000013	令和6年1月30日	
飛灰処理汚泥		—	0.39	令和5年10月5日	ng-TEQ/g
焼却灰		3	0.0077	令和5年10月5日	ng-TEQ/g
排水		10	0.00011	令和5年10月5日	pg-TEQ/L

(注)

- 1 ダイオキシン類は、ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン、ポリ塩化ジベンゾフラン、コプラナーポリ塩化ビフェニルの総称です。
- 2 TEQ(毒性等量)とは、ダイオキシン類の量を最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した値です。
- 3 排ガス中のダイオキシン類の値は、酸素濃度12%換算値です。
- 4 ng(ナノグラム)は10億分の1グラム、pg(ピコグラム)は1兆分の1グラムの質量を表します。
- 5 m³N(ノルマル立方メートル)は、0°C、1気圧の標準状態における気体の体積を表します。
- 6 飛灰処理汚泥は、飛灰を薬剤処理(ダイオキシン類対策特別措置法で定められた処理)しているので、基準値は適用されません。

2-(8) 中央清掃工場周辺大気中のダイオキシン類調査結果(夏季測定)

- 1 調査年月日 令和5年9月25日(月)から令和5年10月2日(月)(稼働時7日間連続サンプリング)
- 2 調査場所 工場及び周辺2か所の計3か所
- 3 調査方法 ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル(環境省:令和4年3月)
- 4 調査機関 ユーロフィン日本環境株式会社
- 5 調査結果

No.	調査場所	所在地	調査値	単位
1	中央清掃工場	中央区晴海5-2-1	0.013	pg-TEQ/m ³
2	中央区立京橋築地小学校	中央区築地2-13-1	0.015	
3	中央区立豊海小学校	中央区豊海町3-1	0.012	

(調査場所は、P14を参照してください。)

(注)

- 1 ダイオキシン類は、ポリ塩化ジベンゾ-パラジオキシン、ポリ塩化ジベンゾフラン、コプラナーポリ塩化ビフェニルの総称です。
- 2 TEQ(毒性等量)とは、ダイオキシン類の量を最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラジオキシンの毒性に換算した値です。
- 3 pg(ピコグラム)は、1兆分の1グラムの質量を表します。

調査日の天気

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
晴後曇後晴	晴後曇後雨	曇後晴後曇	晴後曇後晴	曇時々晴一時雨	曇後晴後曇	曇後晴

調査日の気象条件(7日間の平均値)

気温	湿度	雨量	主な風向	風速
26.4℃	64%	0.0mm	西北西	1.0m/s

(注) 雨量は7日間の合計値を示し、風向は最多出現を示します。

6 まとめ

- (1) 調査結果の値は、環境省が定める大気中ダイオキシン類の環境基準である0.6 pg-TEQ/m³(年平均値)と比べ、十分に低い値である。
- (2) 中央清掃工場煙突でのダイオキシン類調査結果(0.00000025 ng-TEQ/m³N: 令和5年5月11日、6月21日それぞれの測定結果の平均値)と調査日の気象条件等から大気拡散シミュレーションを行ったところ、拡散倍率は20万倍、周辺大気環境に与える影響は最大で0.0000000012 pg-TEQ/m³Nであり、調査結果と比べて小さい。
- (3) 以上のことから、今回の調査結果では中央清掃工場の排ガス中のダイオキシン類が周辺大気環境に与える影響は極めて小さいといえる。

2-(8) 中央清掃工場周辺大気中のダイオキシン類調査結果(冬季測定)

- 1 調査年月日 令和6年1月15日(月)から令和6年1月22日(月)(稼働時7日間連続サンプリング)
- 2 調査場所 工場及び周辺2か所の計3か所
- 3 調査方法 ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル(環境省:令和4年3月)
- 4 調査機関 ユーロフィン日本環境株式会社
- 5 調査結果

No.	調査場所	所在地	調査値	単位
1	中央清掃工場	中央区晴海5-2-1	0.017	pg-TEQ/m ³
2	中央区立京橋築地小学校	中央区築地2-13-1	0.020	
3	中央区立豊海小学校	中央区豊海町3-1	0.017	

(調査場所は、P14を参照してください。)

(注)

- 1 ダイオキシン類は、ポリ塩化ジベンゾ-パラジオキシン、ポリ塩化ジベンゾフラン、コプラナーポリ塩化ビフェニルの総称です。
- 2 TEQ(毒性等量)とは、ダイオキシン類の量を最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラジオキシンの毒性に換算した値です。
- 3 pg(ピコグラム)は、1兆分の1グラムの質量を表します。

調査日の天気

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
晴	晴	晴	晴後曇	曇後晴後曇	曇後雨	雨後晴

調査日の気象条件(7日間の平均値)

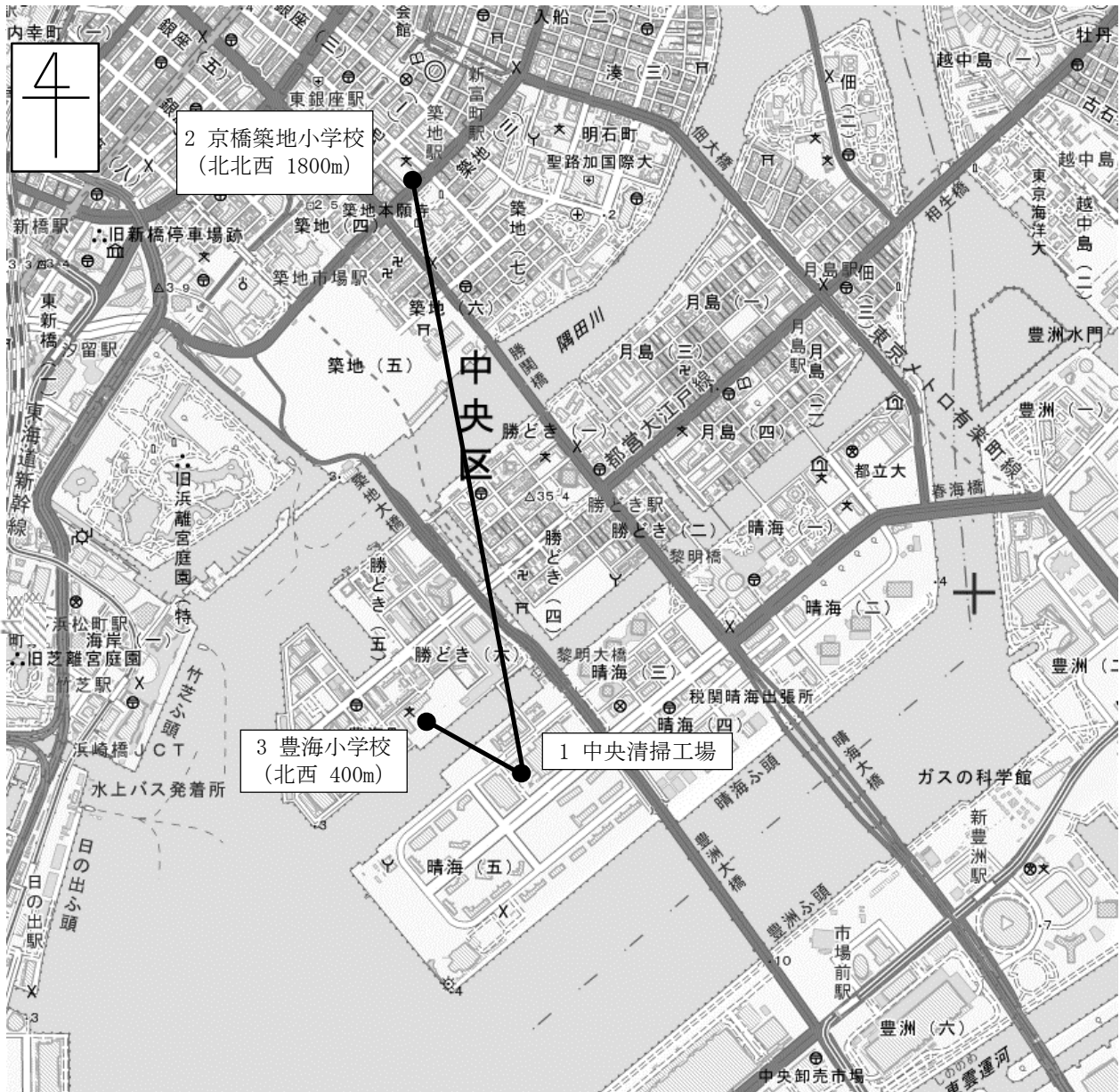
気温	湿度	雨量	主な風向	風速
7.9℃	47%	34.0mm	北西	1.4m/s

(注) 雨量は7日間の合計値を示し、風向は最多出現を示します。

6 まとめ

- (1) 調査結果の値は、環境省が定める大気中ダイオキシン類の環境基準である0.6 pg-TEQ/m³(年平均値)と比べ、十分に低い値である。
- (2) 中央清掃工場煙突でのダイオキシン類調査結果(0.00000025 ng-TEQ/m³N: 令和5年10月5日、令和6年1月30日それぞれの測定結果の平均値)と調査日の気象条件等から大気拡散シミュレーションを行ったところ、拡散倍率は29万倍、周辺大気環境に与える影響は最大で0.00000000084 pg-TEQ/m³Nであり、調査結果と比べて小さい。
- (3) 以上のことから、今回の調査結果では中央清掃工場の排ガス中のダイオキシン類が周辺大気環境に与える影響は極めて小さいといえる。

周辺大気中のダイオキシン類調査場所概略図



出典: 国土地理院発行地図

0 500m